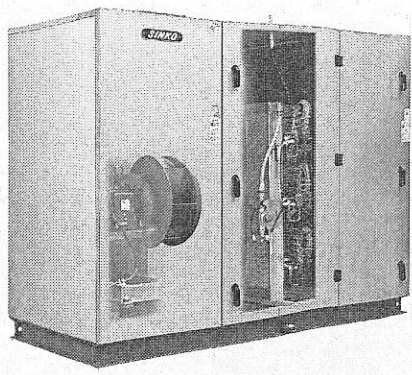


平成30年(2018年)11月25日(日曜日)



ダイキン工業と共同で

新晃工業(大阪市北区、社長・武田昇三氏)は、ダイキン工業と共同で「新型ヒートポンプ空調機」を開発した。

同製品は、従来機よりも大風量・大容量タイプを揃えるとともに、製品設置面積を縮小することにより省スペース化を実現した。また、熱交換器をモジュール化することで、設計・製造手法を見直し、より高品質な製品となっている。

また、冷媒容量制御により供給温度の精度と追従性に優れており、さらに、冬期には安定した温度コントロールを行うことで、省エネ運転でありながら快適な空間を創り出すことが可能である。外気冷房やCO₂濃度コントロールをはじめとする省エネ制御システムを選択肢を広げたことにより、生産工場や学校施設を

新晃工業 新型ヒートポンプ空調機開発

熱交換器をモジュール化

はじめ、多種多様な分野における冷暖房空調システムへの要求に対応する。

また、製品の提供後の試運転やメンテナンスは、新晃工業グループの新晃アトムス(東京都江東区、社長・内海昭則氏)を中心に、日本全国で対応する。